自由民主党岡山県支部連合会
自由民主党岡山県議団　　殿

陳　　情　　書

令和８年１１月

岡山県森林土木建設協会

令和９年度森林土木関係予算確保等について

平素より、森林土木事業の推進につきまして、格別のご理解とご支援をいただいており厚くお礼申し上げます。

さて、近年、線状降水帯による集中豪雨、土石流、流木等により、各地で山腹崩壊や林道被害が発生しているほか、大規模な林野火災も多発しており、今後より一層、事前防災・減災対策を意識した森林整備や治山対策を進めていく必要があります。

しかしながら、岡山県における民有林の山地災害危険地区は6,420地区（令和８年５月１日現在）にのぼり、そのうち治山事業等の未着手地区は3,000地区以上となり、緊急性の高い箇所から治山施設の整備を進めているところでありますが、今後予見される自然災害、施設の老朽化を考えると、対策は十分であると言えません。

つきましては、こうした状況を十分ご勘案の上、令和９年度予算編成にあたり、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

１．森林土木関係予算の確保について

昨今の労務費や資材価格の高騰を適切に反映した林野公共（治山事業、林道整備事業）予算の確保と拡大をお願いいたします。

２．山地災害危険箇所の早期把握と事業化について

県が設定している山地災害危険地区を中心に、地域の森林土木施工業者が現場活動を通じて得た山地災害のおそれのある箇所について、市町村・県民局等を通じて県への情報提供を随時行い、県と当協会が連携して、森林整備や治山対策が必要な箇所の早期把握に努めるとともに、事業化につなげる仕組みの構築をお願いいたします。

令和８年１１月１３日

岡山市北区平和町５－１０
岡山県森林土木建設協会
会　長　　本多　　茂